

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 7 5
平成 19 年 11 月 5 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

学年別のパソコン授業

1年生と4年生でのパソコン授業については、以前にこの通信でもお伝えしました。今回は、他の学年の授業について、簡単にご紹介します。年度によって、やったりやらなかったり、ということがありますが、概ねこういう内容に沿ってやっています。

2年生

引き続き、文字入力を練習します。文字と、自分の描いた絵とを合体させることができることを覚えます。また、マウスを使ったパソコンとの対話にも慣れます。50音表がわかって使えること、カタカナ言葉はパソコンに聞いて作れることと、マウスポインタやアクティブウィンドウ、文字入力カーソルなどの、画面からの情報に注意できるように練習します。使用目的を意識した作品作りをします。

3年生

文字入力の練習をたくさんします。また、文字はホームポジションで、手元を見ない入力があることもわかって、練習します。書いたら、読んだ人がいやがることにはどんなことがあるか、そういうことは書いてはいけないことを覚えます。カタカナ言葉を含んだ文章の適切な作り方を学びます。伝えたいことを上手に伝える方法について練習し、メールを使った情報交換も少しだけ練習します。

5年生

4年生までに文字入力(漢字仮名混じり文)やマウスによる操作、クリップボード(コピーと貼り付け)、インデントなど、一通りのコンピュータスキルに親しんだところで、パワーポイントによる、相手を意識した情報発信(プレゼンテーション)、エクセルを題材に、ちょっと発展したコンピュータスキルを学びます。文字入力では、毎日パソコン入力コンクールの10月大会に参加して、練習の成果を試みます。インターネットの検索について、情報の見つけ方、信憑性など、注意したいことについて学びます。

6年生

インターネットなどでの情報の発信、受信について、著作権クイズや、ビデオ教材を使って情報モラルを学びます。年度後半には、卒業制作の持ち帰りを前提としたホームページ作りを中心に進めます。今年度は特に、後進の学年を意識した作品作りを心がけます。

コンピュータスキルを身につけるだけでなく、情報に対する適切な対応の仕方、情報発信と受信における情報モラルなどの学習を視野に入れて、子どもたちの様子を見て新しい授業を組み込みながら、「無理なく・楽しく・さりげなくスキルアップ」を目指しています。